

2026年第2四半期(1-6月) 決算説明資料

2026年8月4日

株式会社タダノ

<特記事項>

- 本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。
- 需要、シェアの取り扱いについて：需要台数は当社推計にて10台単位に四捨五入、シェアは小数点以下を四捨五入しております。また、需要にはロシア国産、中国国産の中国市場向けは含んでおりません。
- 本資料において使用する製品略称は以下の通りです。
RT：ラフテレーンクレーン、AT：オールテレーンクレーン、TC：トラッククレーン
- 本資料において使用する社名略称は以下の通りです。
 - ・ TUL : タダノユーティリティ（2024年2月買収）
 - ・ Manitex : Manitex International、Manitex Inc、PM Oil&Steel、Vallaの4社の総称（2025年1月買収）
 - ・ TIS : タダノインフラソリューションズ（2025年7月買収）
- 米国Manitex International Inc. およびIHI運搬機械株式会社の運搬システム事業（現：TIS）の買収に伴う企業結合の暫定的な会計処理に係る確定により、前年の数値について遡及修正を行っております。

26年1-6月 業績の概要

■ 売上高 1,825億円：対前年同期 +177億円

- TISの買収効果により増加

■ 営業利益 148億円：対前年同期 +67億円

- 売上増に加え、米国関税還付等により増加



TIS製
ジブクレーン

■ 親会社株主当期純利益 107億円：対前年同期 +68億円

- 営業利益増に加え、欧州における工場再編関連費用戻入益等の特別利益により増加

■ 連結業績予想：期初予想から変更なし

- 米国関税還付・為替影響等のプラス要因があるものの、中東情勢影響等による先行き不透明感もあり、期初予想を据え置く
- なお、7月以降の前提為替レートは、158円/USD・184円/EURに変更する

26年1-6月 業績

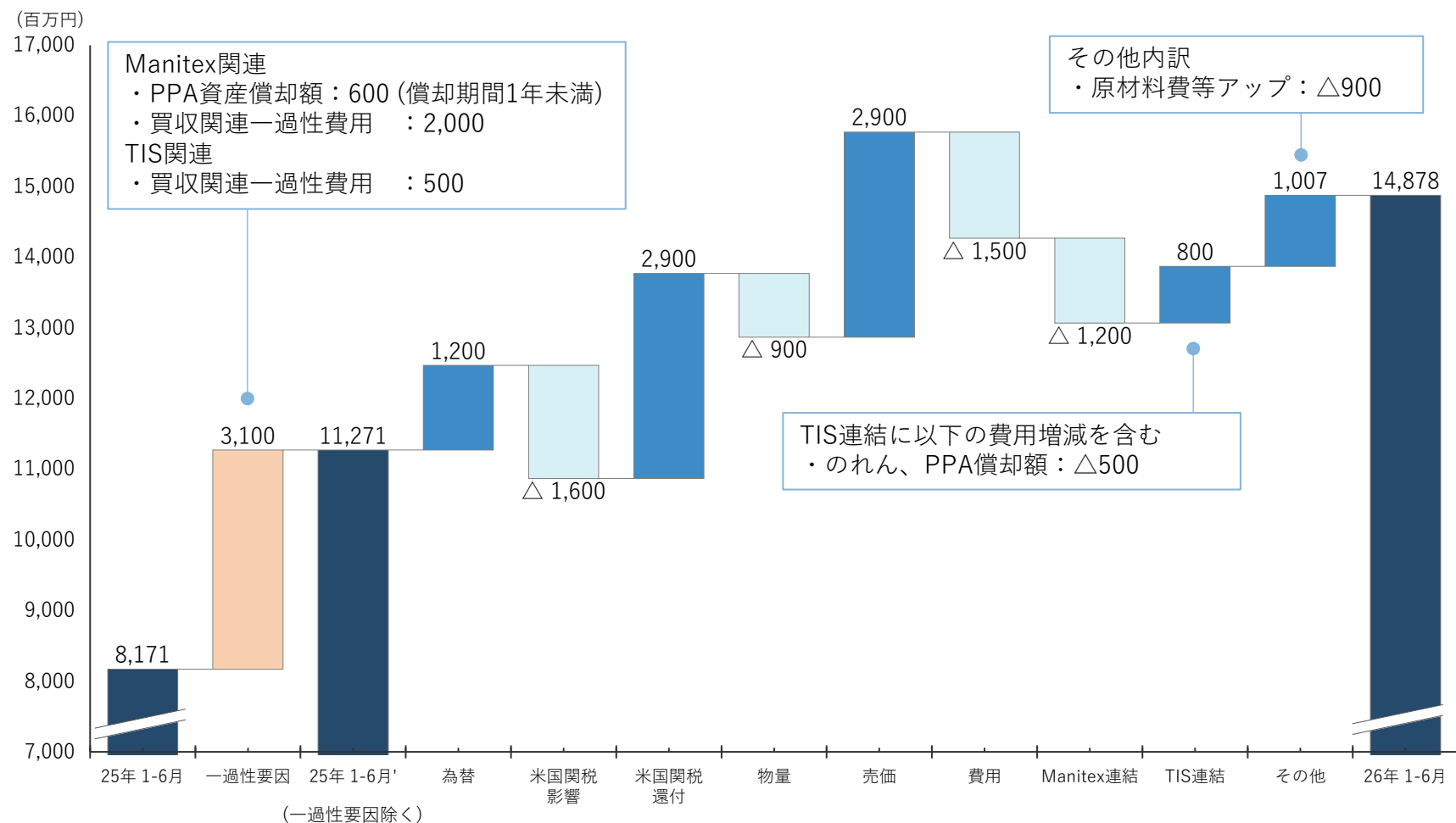
(単位：百万円)

	25年 1-6月		26年 1-6月		対前年	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	164,791	100%	182,581	100%	17,790	10.8%
営業利益	8,171	5.0%	14,878	8.1%	6,707	82.1%
経常利益	5,741	3.5%	13,515	7.4%	7,773	135.4%
親会社株主当期純利益	3,873	2.4%	10,731	5.9%	6,858	177.1%
EBITDA ※	12,953	7.9%	19,988	10.9%	7,035	54.3%
USD	148.6円		158.2円			
EUR	162.2円		184.5円			

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費（減価償却費・のれん償却費はスライドP8フリーキャッシュフローより）

営業利益増減要因（前年同期比）

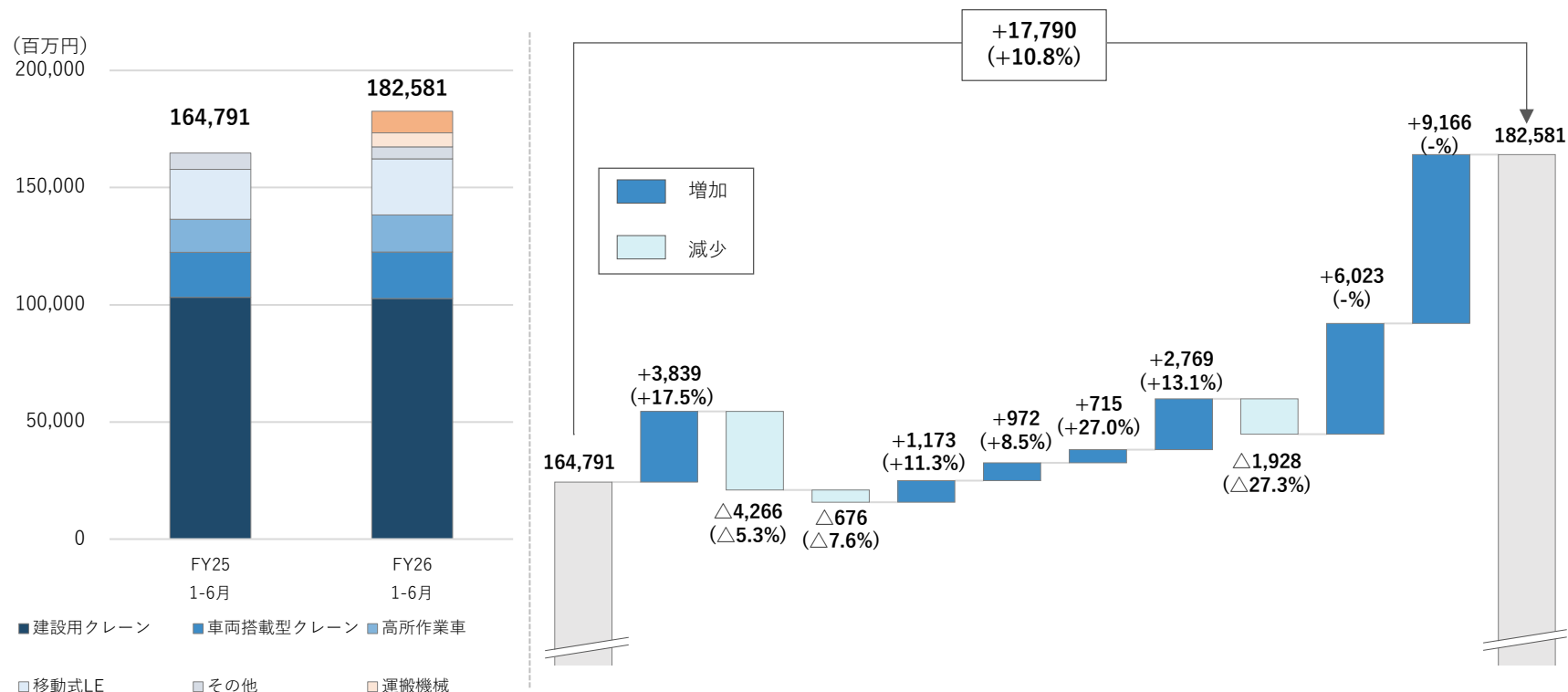
買収関連費用を含む一過性要因31億円が解消。売価改善や米国関税還付により、営業利益は67億円増加



※PPA=Purchase Price Allocationの略

製品別売上高

TISのグループ化で加わった“定置式LE”により売上増加



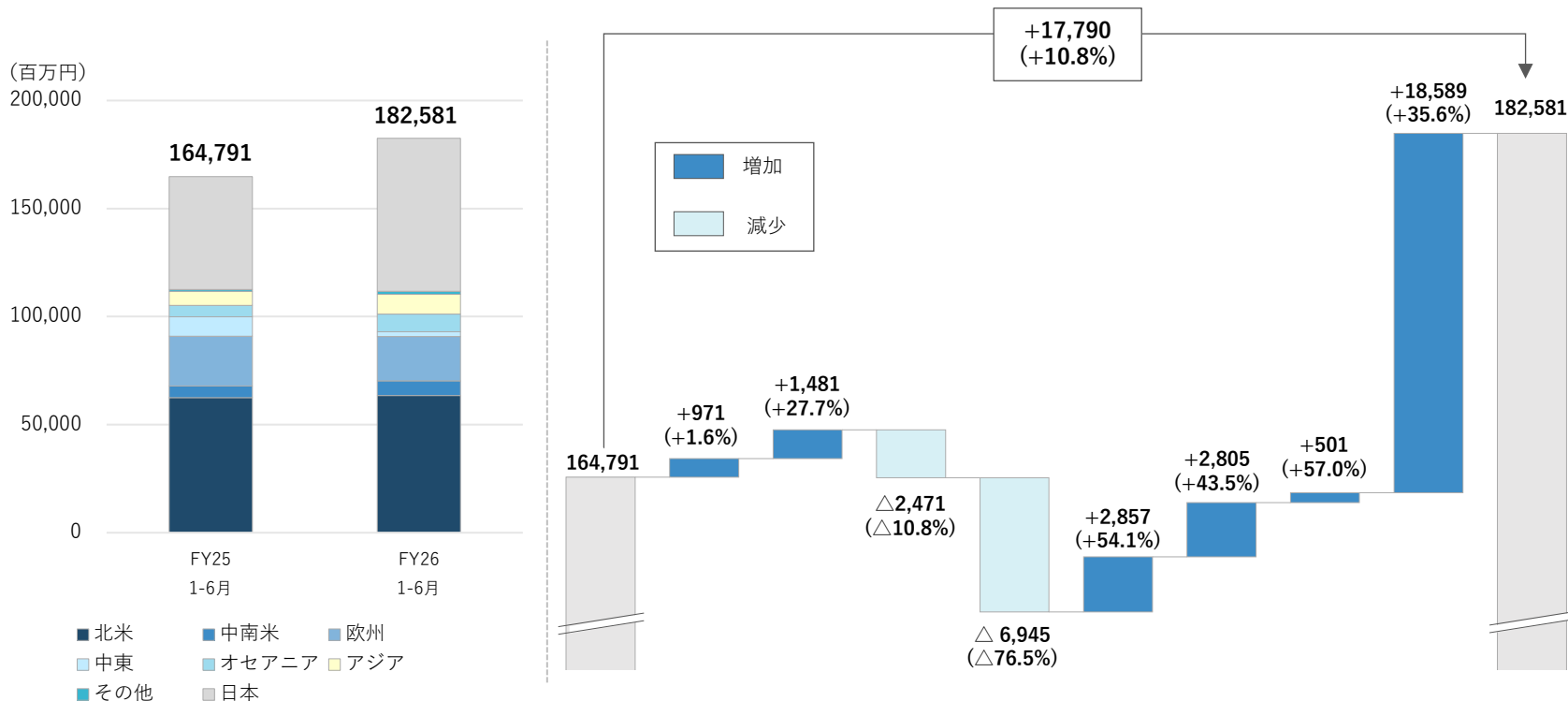
	移動式LE (小計)	定置式LE (小計)	総計
25年 1-6月	164,791	-	164,791
26年 1-6月	167,391	15,190	182,581
増減	2,600	15,190	17,790

移動式LE						定置式LE	
建設用クレーン		車両搭載型クレーン		高所作業車		部品・サービス	その他
日本	海外	日本	海外	日本	海外		
21,995	81,132	8,929	10,350	11,473	2,650	21,201	7,058
25,835	76,865	8,252	11,524	12,446	3,365	23,971	5,129
3,839	△4,266	△676	1,173	972	715	2,769	△1,928

※定置式LEの項目については、TISのグループ化（2025年7月）により新設したため、対前年同期増減率を記載しておりません。

地域別売上高

TISのグループ化により日本で増加、中東は情勢緊迫化により減少



	海外 (小計)	海外 売上高 比率	総計
25年 1-6月	112,537	68.3%	164,791
26年 1-6月	111,737	61.2%	182,581
増減	△799	△7.1Pt	17,790

海外							日本
北米	中南米	欧州	中東	オセアニア	アジア	その他	
62,497	5,358	22,990	9,084	5,278	6,447	880	52,253
63,468	6,840	20,518	2,138	8,135	9,252	1,382	70,843
971	1,481	△2,471	△6,945	2,857	2,805	501	18,589

※売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。

貸借対照表とフリーキャッシュフロー

北米・中東向けの売上が下期へのずれ込み等により、棚卸資産が増加

(単位：百万円)

貸借対照表

	25年 12月末	26年 6月末	増減
手許資金	81,842	72,091	△9,750
売上債権	72,471	59,279	△13,191
棚卸資産	156,716	171,886	15,170
その他	17,815	15,205	△2,610
流動資産計	328,844	318,462	△10,382
有形固定資産	82,032	85,042	3,009
無形固定資産	26,624	25,544	△1,080
投資その他の資産	21,096	22,765	1,668
固定資産計	129,754	133,352	3,598
資産合計	458,599	451,815	△6,784
仕入債務	44,698	34,456	△10,242
有利子負債	146,016	136,355	△9,661
その他	61,693	63,482	1,788
負債計	252,409	234,294	△18,114
純資産計	206,189	217,520	11,330
負債・純資産計	458,599	451,815	△6,784
ネット有利子負債	64,174	64,264	89
ネットD/Eレシオ	0.31倍	0.30倍	△0.02Pt

フリーキャッシュフロー

	25年 1-6月	26年 1-6月	増減
営業CF	△ 5,825	7,628	13,453
税引前当期純利益	7,458	15,213	7,755
減価償却費	4,318	4,562	244
のれん償却費	463	548	84
運転資本	△ 6,960	△ 9,490	△2,529
その他	△ 11,105	△ 3,206	7,898
投資CF	6,930	△ 2,867	△9,797
設備投資額	△ 3,448	△ 7,149	△3,701
その他	10,378	4,282	△ 6,096
FCF	1,104	4,760	3,655
売上債権回転期間	75.7日	58.8日	△16.9日
棚卸資産回転期間	223.2日	246.0日	22.8日
仕入債務回転期間	63.7日	49.3日	△14.3日
CCC	235.2日	255.5日	20.2日

建設用クレーン 概要

■ 売上高：1,027億円（前年同期比△4億円）

日本

- 慢性的なオペレーター不足や資材価格高騰の影響もある中、大規模工事の実施・計画等もあり、売上は堅調に推移

北米

- データセンター等の設備投資による需要の下支えもあり、受注・売上は堅調

欧州

- 欧州需要は回復基調も、主要地域を中心に受注環境は厳しい状況が継続

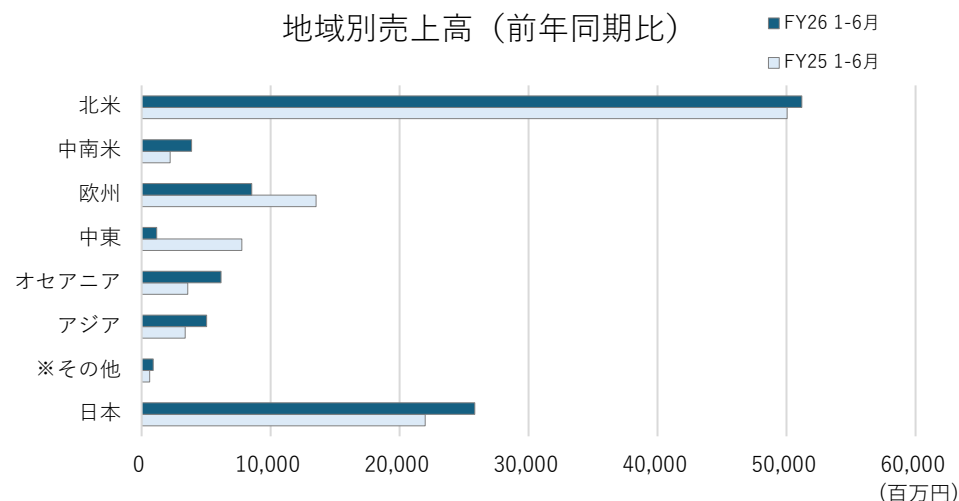
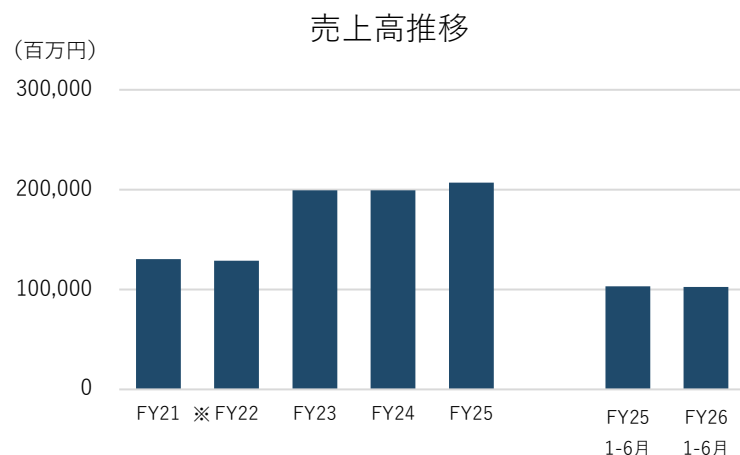
その他 地域

- 中東は情勢緊迫化等の影響による出荷後ろ倒しに加え、前年の当社大口商談による反動で売上減少

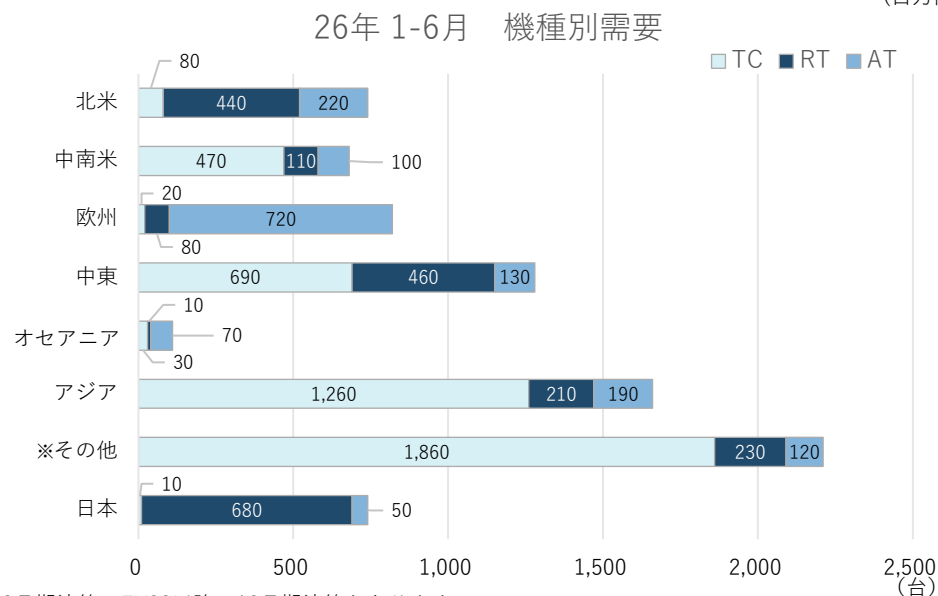


GR-700N + e-PACK

建設用クレーン 概要



	需要			シェア	
	25年 1-6月	26年 1-6月	増減率	25年 1-6月	26年 1-6月
北米	780台	740台	△5.1%	39%	37%
中南米	690台	680台	△1.4%	1%	3%
欧州	760台	820台	7.9%	5%	3%
中東	1,590台	1,280台	△19.5%	8%	2%
オセアニア	110台	110台	0.0%	17%	9%
アジア	1,210台	1,660台	37.2%	5%	5%
その他	2,020台	2,210台	9.4%	0%	1%
海外計	7,160台	7,500台	4.7%		
日本	730台	740台	1.4%	55%	57%
合計	7,890台	8,240台	4.4%	12%	11%



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。

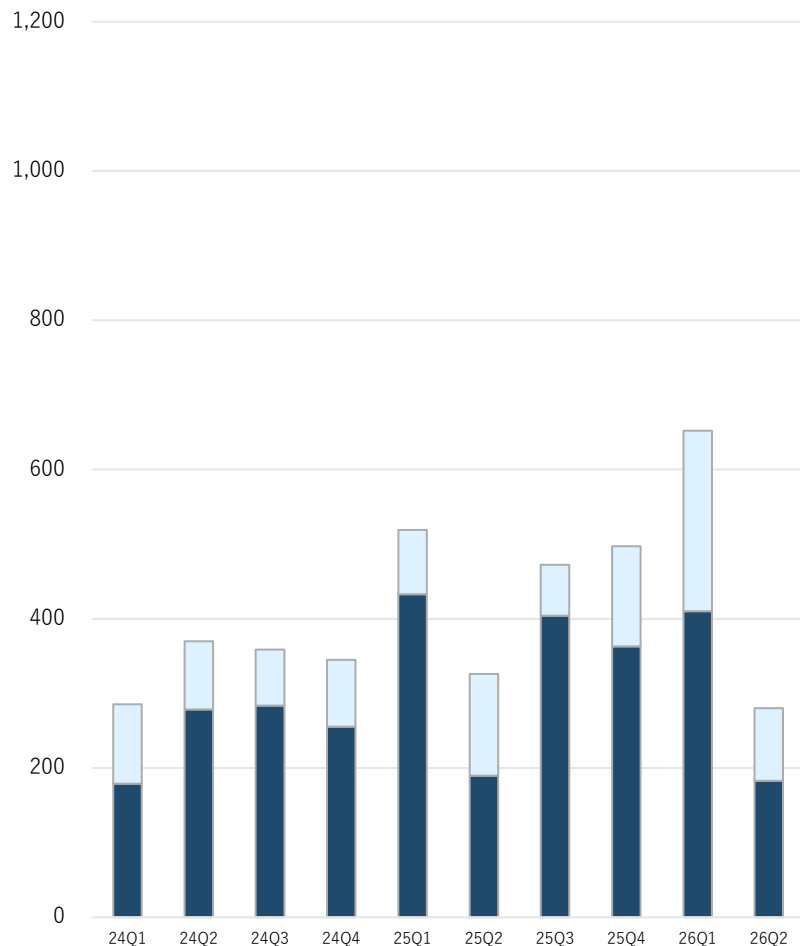
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。

建設用クレーン受注残高推移(RT・AT)

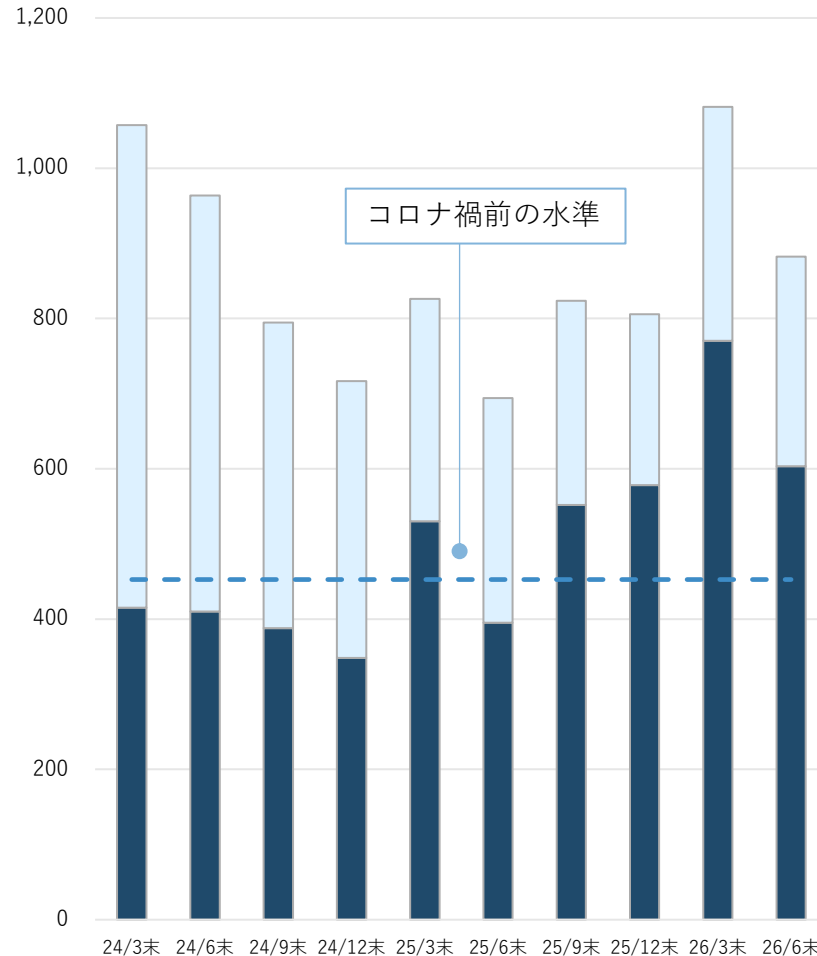
新規受注

(億円)



受注残高

(億円)



コロナ禍前の水準

※新規受注は各四半期の累計受注高を表しております。

RT

AT

車両搭載型クレーン 概要

売上高：197億円（前年同期比+4億円）

日本

- トラックシャシの新型移行や車両価格の高騰もあり、需要が減少し、当社売上も減少



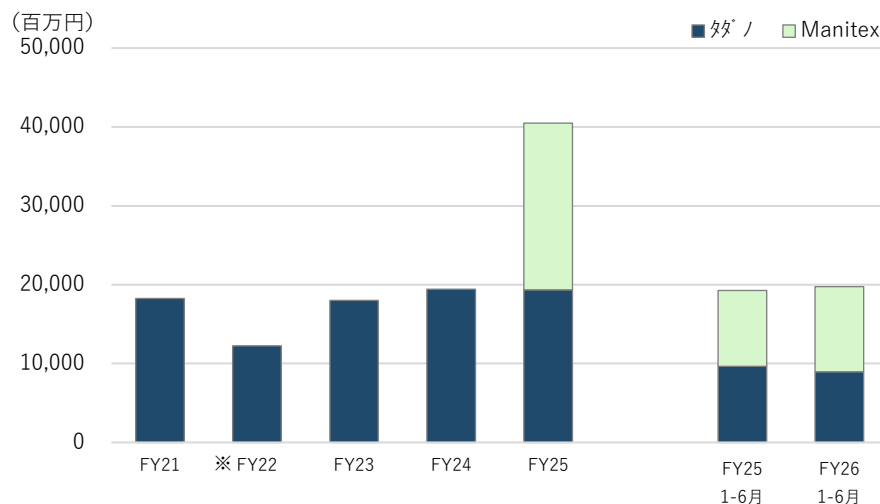
海外

- Manitex Inc.製品の北米売上、PM Oil&Steel製品の欧州売上が増加

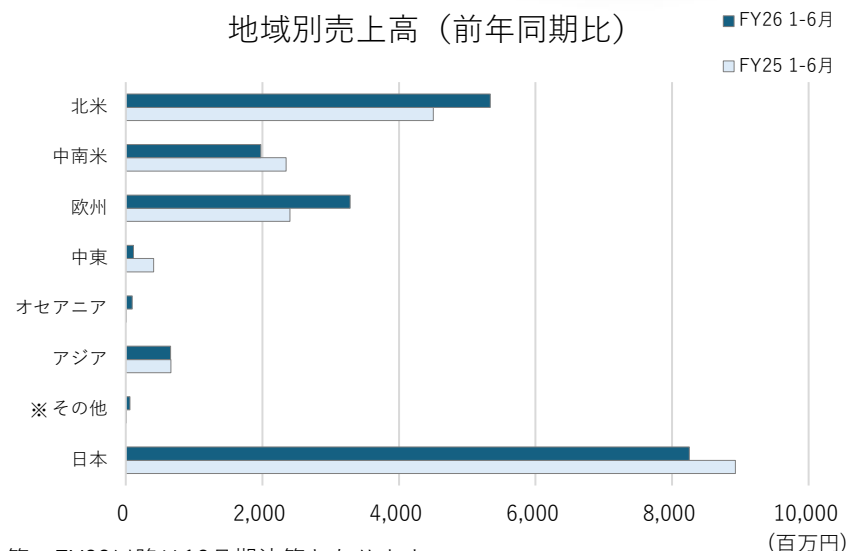
PM Oil & Steel製
ナックルブームクレーン



売上高推移(ﾀﾞﾉ / Manitex)



地域別売上高（前年同期比）



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。

また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。

高所作業車 概要

■ 売上高：158億円（前年同期比+16億円）

日本

- ・ レンタル・通信向けの需要・販売が堅調に推移し、売上が増加

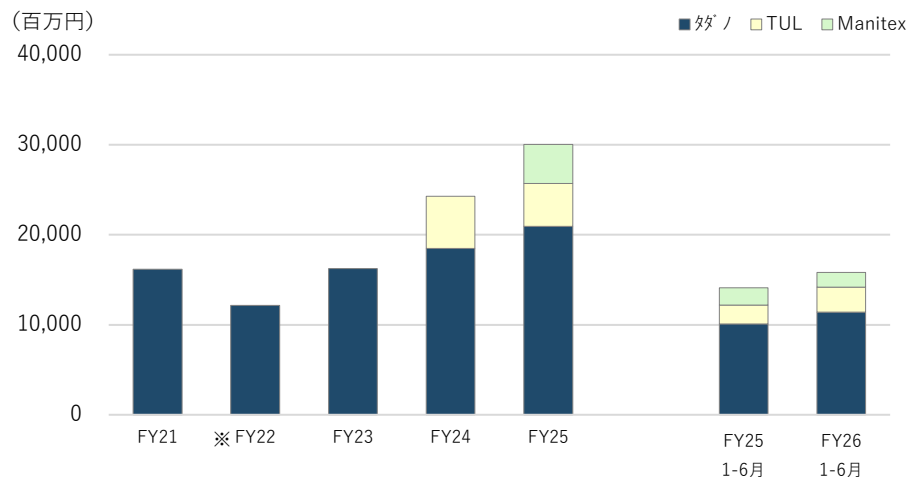
海外

- ・ 営業体制強化により新規顧客獲得が進展し、TUL製品の北米・欧州売上が増加

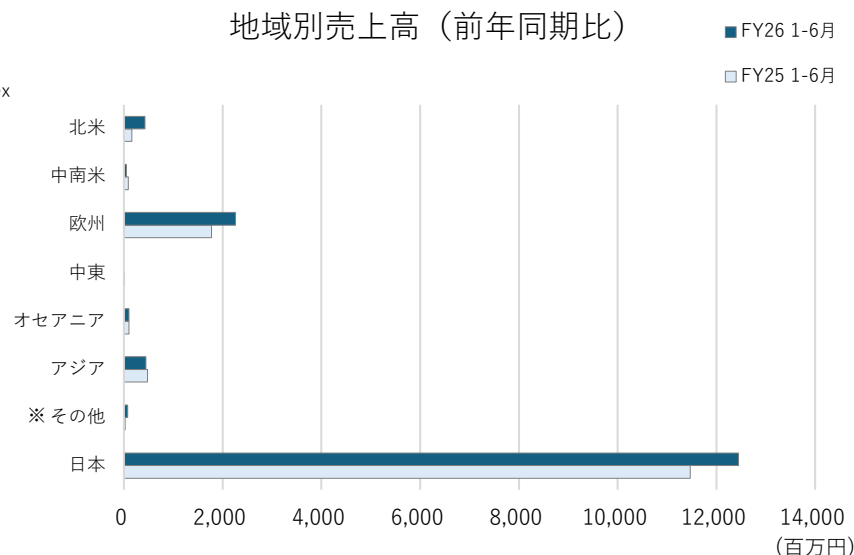


TUL製
高所作業車

売上高推移(タノ / TUL / Manitex)



地域別売上高（前年同期比）



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。

また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。

26年度業績予想

業績・配当予想は、米国関税還付・為替影響等のプラス要因があるものの、中東情勢影響等による先行き不透明感もあり、変更していません。

なお、7月以降の前提為替レートは、以下の通り見直しております。

(単位：百万円)

	25年 1-12月		26年 1-12月 予想		対前年	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	349,477	100%	400,000	100%	50,522	14.5%
営業利益	18,552	5.3%	25,000	6.3%	6,447	34.7%
経常利益	15,096	4.3%	22,000	5.5%	6,904	45.7%
親会社株主当期純利益	18,298	5.2%	14,000	3.5%	△ 4,298	△23.5%

USD	149.7円	158.0円 (7月以降)
EUR	169.0円	184.0円 (7月以降)

1株当たり配当金	中間	18.0円	中間	17.0円
	期末	26.0円	期末	17.0円
	年間	44.0円	年間	34.0円
連結配当性向	30.4%		30.7%	

※期初前提為替レート：152円/USD・180円/EUR

Reaching new  heights